



# 志木二中だより

令和3年度2月号  
令和4年2月1日(火)

～気持ち良い あいさつ溢れる 志木二中～

志木市立志木第二中学校  
志木市館1-3-1  
TEL:048-473-2379

## 便利な世の中になってはいますが・・・

校長 本 莊 真

朝夕のテレビのニュース番組を見ていると、犯罪や交通事故の瞬間、あおり運転などの実際の映像がやたらと多いと感じます。たいてい顔やナンバープレートなどがぼかされていて特定されないようになっています。賽銭泥棒や他人の家へのいたづら、無謀な運転などを朝から見せられたりするの、あまり気分の良いものではありません。こういう映像が増えたのは、街中の防犯カメラや車につけるドライブレコーダーの普及によるところが大きいと思われまます。最近では、JRの駅員さんにカメラをつけるようになるという記事を読みまました。鉄道を利用するお客さんからの暴力や理不尽な要求に対応するためのもので、ウェアラブルカメラというようです。

さて、こういったカメラなどの機器の開発・普及により犯罪の検挙率の向上や事故の明らかな証拠となり、また犯罪等の抑止力にも繋がり、便利な世の中になりました。携帯電話も、迅速な通報や手軽な証拠写真撮影などで役に立っているのでしょうか。良いことばかりのよう



な気がするのですが、私はこういうニュースを見るとなんとなくもやもやした気持ちになるのです。うまく表現できないのですが、いままであまり目にする事のなかった映像を何度も見せられると、世の中でこういったことが当たり前のように行われているような錯覚を植え付けられる気がしてしまうのです。特にコロナ禍の今、多くの方がイライラしていて、皆がやってはいけないことをしているように思えてしまいます。実際にはそんなことはなく、医療の最前線で日々奮闘してくださったり、ほとんどの人が思いやりの心をもって助け合って生活したりしているはずなのに、です。情報過多、情報のたれ流しはある種の問題ではないかと思うのです。

志木市の児童生徒に1人1台のタブレットが支給されて1年が経ちまます。皆さんは授業でよく活用してまますね。これも便利な機器です。使う人のマナーや良識が問われまます。ルールを守って上手に使ってまます。生徒の皆さんは、便利な機器がある世の中で最初から生きてまます。当たり前に使ってまます。なかった時代を知っている私は、いつもよくわからない不安のような思いをもつてまます。それが取り越し苦労なら良いのですが。

新型コロナウイルス感染症の収束はいままだ見えまませんが、皆さんが心身ともに健康で穏やかな気持ちで過ごしてほしいと願う毎日です。